



第70期 株主通信

2015年4月1日から2016年3月31日まで

ロジスティクスに最適解を
大石産業株式会社

証券コード：3943



企業理念



常に新しく価値ある商品・サービスを提供する

働きがいのある豊かな生活を実現する

成長分野で、優れた業績を約束する

社会と地域に有用な存在となる

地球環境の保全に貢献する



CONTENTS

TOP MESSAGE	2
営業の概況	3
連結業績ハイライト	5
主要連結財務データ	6
セグメント情報	7
TOPICS	9
次期の見通しと配当について	11
株式の概況	12
会社の概況	13



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの平成28年熊本地震により、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社は2016年3月31日をもって、第70期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **大久保 則夫**





当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の各種政策の効果もあり、雇用情勢や所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で海外経済では中国を始めとするアジア新興国等の景気減速による影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、提案営業による顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に取り組みました。

その結果、当連結会計年度の売上高は179億45百万円（前連結会計年度比0.5%増）となり、営業利益11億3百



新製品 球根用トレー

ホームセンター向けの球根用トレーとして当社パルプモールド製品が採用されました。

万円(同92.2%増)、経常利益13億23百万円(同65.9%増)、当期純利益9億63百万円(同90.7%増)となりました。

なお、期末配当につきましては、1株につき12円50銭とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、政府や日銀の各種政策による雇用や所得環境の改善が続くなかで、回復基調が続くものと期待されるものの、引き続き中国を始めとするアジア新興国等の景気の下振れリスクなどもあり不透明な状況が続くものと推測されます。

このような状況下、当社グループは、提案営業による顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげたイノベーション活動を推進し、業績向上に努めてまいります。

売上高
17,945百万円
(前期比 0.5%増)

営業利益
1,103百万円
(前期比 92.2%増)

経常利益
1,323百万円
(前期比 65.9%増)

当期純利益
963百万円
(前期比 90.7%増)

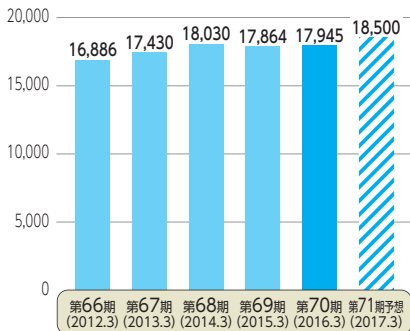


決算のポイント

- 売上高については、東南アジア向けの包装機能材事業の売上高増加等により増収となりました。
- 利益については、原油価格の低下による原燃料安および固定費の削減等により、営業利益、経常利益および当期純利益も増益になりました。

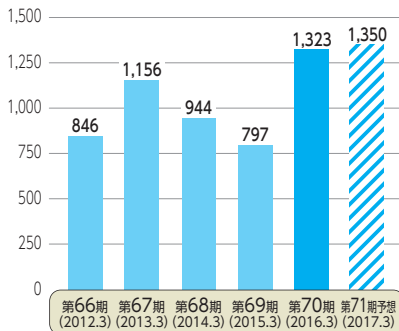
売上高

(百万円)



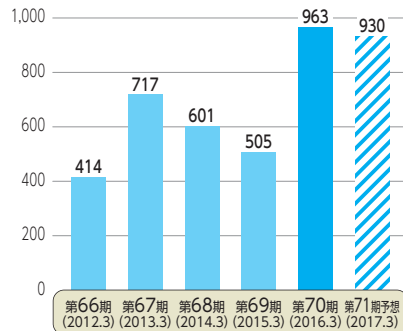
経常利益

(百万円)



当期純利益

(百万円)





科 目	第66期 (2012.3)	第67期 (2013.3)	第68期 (2014.3)	第69期 (2015.3)	第70期 (2016.3)
売上高 (百万円)	16,886	17,430	18,030	17,864	17,945
営業利益 (百万円)	612	908	728	574	1,103
経常利益 (百万円)	846	1,156	944	797	1,323
当期純利益 (百万円)	414	717	601	505	963
設備投資額 (百万円)	725	772	1,284	1,092	227
総資産 (百万円)	15,943	16,641	18,359	18,897	18,753
純資産 (百万円)	9,572	10,176	10,524	11,319	11,627
1株当たり当期純利益 (円)	48.18	84.85	73.47	63.00	120.17
1株当たり純資産額 (円)	1,119.95	1,214.93	1,309.97	1,410.91	1,448.84



緩衝機能材事業

売上高 **78億36** 百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、畜産・農業分野では鶏卵パックやりんご用トレーの出荷が順調に推移し前年並みとなりました。工業分野では医療機器向けの需要減および事務機器向けの生産調整の影響により減収となりました。

段ボール部門は、品質の向上と生産性向上に取り組み、工業分野では化成品関連や食品関連の需要増や包装改善提案等による拡販で増収となりました。農業分野は冷夏、暖冬等の天候不順の影響もあり低調に推移し減収となりました。

この結果、当事業の売上高は78億36百万円(前連結会計年度比2.0%減)となりましたが、セグメント利益は7億30百万円(同9.8%増)となりました。

●主要製品紹介

【パルプモールド】

ドリンクキャリア

持ち帰り用のドリンクホルダーとして利用されています。全サイズのドリンクが固定可能で数量も1ヶまで分割使用できます。安定性、吸水性に優れています。



【段ボール】

イージーオープナー段ボール

開封を簡単に行うことができ、カッター等を使用せずには開梱できるため安全性が向上し、内容物への傷つき防止効果もあります。



包装機能材事業

売上高 **96億33**百万円

営業の概況

樹脂部門は、PS食品容器フィルムは原料価格低下の影響で減収となり、キャストおよびコーティングフィルムは新機能フィルムの積極的な拡販と衛生材料向けが好調を維持し増収となりましたが、フィルム全体では減収となりました。樹脂袋は肥料全体の需要減少で減収となりました。

紙袋部門は、国内は需要減退の影響もありましたが、提案営業、技術サービス強化並びにイノベーション活動に取組んだ結果、増収となりました。海外は、中国および東南アジアの経済減速の影響もありましたが、ENCORE LAMI SDN. BHD.のラミネート事業は単年度黒字化を果たし、同社製のラミネート材料の活用や合成樹脂、食品製粉顧客向けを中心とする提案営業、技術サービス、イノベーション活動により新規および既存顧客拡販が順調に推移、円安効果もあり増収となりました。

この結果、当事業の売上高は96億33百万円(前連結会計年度比3.2%増)となり、セグメント利益は11億87百万円(同59.2%増)となりました。

●主要製品紹介

【フィルム】

カップ麺用フィルム

カップ麺用容器の強度向上、印刷柄を付けることで容器の美粧性を向上させる
目的でポリスチレンフィルムが使用されています。



【重包装袋】

化学品・食品用重包装袋

易開封性のカットテープを付与し、容易に開封できる袋です。化学品、食品等の用途に使用されています。

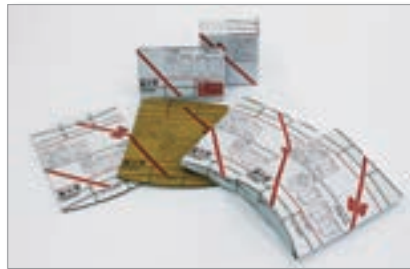




1. 新製品「わくわく宅配BOX」、「くるりんパルプMOULD」

近年、ネット通販を中心に通販業界は活況を迎えています。このような状況のもと、当社では宅配向けの簡易包装資材として、「わくわく宅配BOX」、「くるりんパルプMOULD」を開発いたしました。ネット通販業界は、パソコン、スマートフォン、タブレットの普及により、今後も益々伸びが期待できる市場です。

当社の機能包装をご提案することにより更なる販路拡大を図り、イノベーション活動を継続し、常に新しい事へ挑戦していきます。



わくわく宅配BOX



くるりんパルプMOULD

2. 青森労働局長表彰「優良賞」受賞

2015年10月、八戸工場が青森労働局より、安全衛生に関して特に優れている事業所として、青森労働局長表彰「優良賞」を受賞いたしました。八戸工場はこれまでも安全衛生やエネルギー管理の分野で、東北地方の官公庁より各種表彰をいただいております。八戸工場稼働から40年以上が経過し、地域に根ざした工場になったと認識いたしております。

今後も地域に貢献できる工場として地域とともに発展して参ります。



3. コア・パックス25周年・エンコア・ラミネート2周年記念セレモニー

2015年12月、マレーシア国ジョホール州にある当社関係会社コア・パックスの設立25周年、エンコア・ラミネートの設立2周年を記念し、両社社員一同参加のもとセレモニーを開催いたしました。

コア・パックスは、東南アジアでの受注拡大で業績好調が続いており、また、エンコア・ラミネートも創業2年目で単年度黒字化を果たし、事業も軌道に乗ってまいりました。

今後も当社グループ連携のうえ、業績向上にむけて邁進して参ります。



●次期の見通し

各事業区分別の取り組みは以下のとおりであります。

①緩衝機能材事業

- 既存製品の機能性向上および拡販
- 畜産、農業、工業全分野における新製品の開発・開拓を強力に推進
- 顧客・市場ニーズに合わせた総合提案力の強化
- 生産現場の効率化による生産性の継続的改善と品質の向上・安定化

②包装機能材事業

- コーティング製品拡販および新機能フィルムの製品開発継続と市場開拓
- 新技術による品質および生産性の向上と提案営業による顧客満足向上
- ENCORE LAMI SDN. BHD.の安定操業およびCORE PAX(M) SDN. BHD.の品質保証力強化

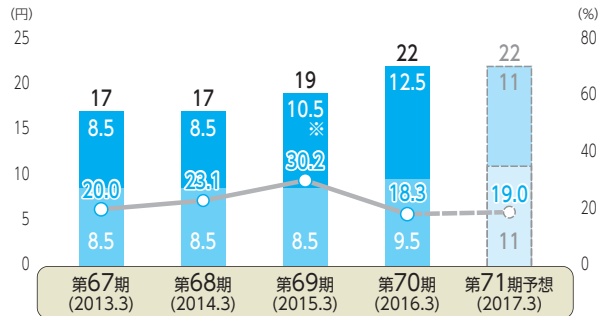
●第71期(2017年3月期)予想

売上高	18,500	百万円 (前期比 3.1%増)
営業利益	1,150	百万円 (前期比 4.2%増)
経常利益	1,350	百万円 (前期比 2.0%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	930	百万円 (前期比 3.5%減)

●配当政策

当社グループは、株主様重視の配当の実施を基本方針としており、生産性の向上等による利益体質の強化を図りながら、安定的に配当を実施する所存であります。

1株当たり配当金(■期末配当 ■中間配当)(左軸) ○配当性向(右軸)



※創業90周年記念配当2円を含む。



●株式の状況 (2016年3月31日現在)

(1) 発行済株式の総数 9,328,000株 (自己株式含む)

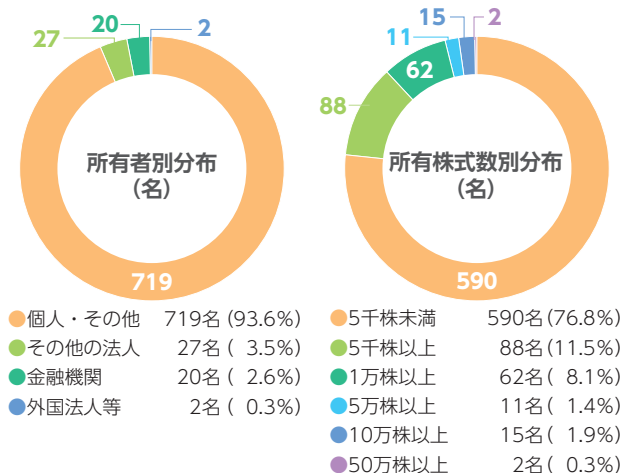
(2) 株主数 768名

(3) 大株主

株主名	持株数	持株比率
中村泰子	709千株	8.85%
OSK社員持株会	480千株	5.99%
王子ホールディングス株式会社	463千株	5.78%
三井住友海上火災保険株式会社	446千株	5.56%
株式会社西日本シティ銀行	378千株	4.72%
株式会社福岡銀行	373千株	4.66%
株式会社北九州銀行	351千株	4.38%
伊藤忠紙パルプ株式会社	309千株	3.85%
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	215千株	2.68%
日本生命保険相互会社	173千株	2.16%

(注) 持株比率は自己株式(1,308千株)を控除して計算しております。

(4) 株式分布状況





● 会社の概要

商 号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本 社 所 在 地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設 立	1947年2月3日
資 本 金	4億6,640万円
支店・営業所	北海道／東北／関東／東京／関西／九州／ 熊本／大分／長崎／シンガポール
工 場	八戸、茨城、鞍手、小倉、直方
従 業 員 数	340名(グループ 531名)

連結子会社 (2016年6月28日現在)

株式会社アクシス	大連大石包装有限公司
CORE PAX(M) SDN.BHD.	ENCORE LAMI SDN.BHD.

取締役および監査役 (2016年6月28日現在)

代 表 取 締 役 社 長	大 久 保 則 夫
専 務 取 締 役	久 継 雅 夫
常 務 取 締 役	田 中 英 雄
取 締 役	高 田 圭 二
取 締 役(社外)	長 門 博 之
常 勤 監 査 役(社外)	宮 地 郁 夫
監 査 役(社外)	川 本 惣 一
監 査 役(社外)	福 地 昌 能

大石産業グループ拠点マップ



大連大石包装
有限公司



CORE PAX (M)
SDN. BHD.



ENCORE LAMI
SDN. BHD.



鞍手工場
パルプモールド
製造課(第一)



鞍手工場
パルプモールド
製造課(第二)



鞍手工場
フィルム製造課



本社



直方工場



小倉工場



株式会社アクシス



茨城工場
フィルム製造課



八戸工場



茨城工場
パルプモールド
製造課

●営業拠点
●製造拠点

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL http://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	福岡
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求は、インターネットでもお受け付けております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンタで印刷できます。)

大石産業株式会社

〒805-0068 北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
TEL.093-661-6511 FAX.093-661-1641
<http://www.osk.co.jp/>